

広島文化学園大学看護学部 講演会



講師 米田幸雄先生

緑茶アミノ酸が 認知症を予防する？

講師プロフィール

医学博士

- ・大阪大学薬学部卒
- ・米国シティオブホープ
医学研究所博士研究員
- ・京都府立医科大講師
- ・摂南大学教授
- ・金沢大学教授
- ・日本薬学会賞受賞
- ・金沢大学名誉教授
- ・金沢大学ベンチャー
ビジネス ラボラトリー

アルツハイマー病などの神経変性疾患が発症すると、脳内の神経細胞がどんどん破壊されますが、脳内の神経細胞は一度壊れると元へ戻らないので、認知機能障害などの異常症状が悪化します。一方、能登地方に住む高齢者男女の5年間の追跡調査では、緑茶飲用者の認知障害発症率は非飲用者の4分の一程度でした。緑茶にはカテキンやカフェインが高濃度に含まれますが、その他にもアミノ酸のテアニンがわずかに含まれています。このテアニンが、脳内で神経細胞を新たに作り出す能力を持つことが分かりました。テアニンの効果をうまく利用すると、認知症だけでなく色んな脳疾患を予防出来る可能性が考えられます。現在はその実用化に取り組んでいます。

2018年11月29日(木)

開場: 12:30

無料、予約なし

講演: 13:20~14:50

会場

広島文化学園大学
看護学部呉・阿賀キャンパス
呉市阿賀南2丁目10-3
(JR安芸阿賀駅より徒歩15分)
駐車場多数有(無料)



主催: 広島文化学園大学

看護学部総合研究センター・FD委員会
文部科学省選定研究ブランディング事業

☎ 0823-74-6000